

事例研究：「南アの子ども」比較一覧

(ファシリテーター用)

	ベティー（白人）	ポーシャ（黒人）
・学校	私立学校で寮生活 長期休み（4回）の時だけ家に 帰ることができる	近所の公立学校に通う
・生活環境	町の住宅街	旧タウンシップ 貧しい家庭ではない
・家族	父は長期海外出張 母と弟が家にいる 黒人のお手伝いさんが家事全 般を行う。仲が良い	祖母、父、母、兄2人、姉、弟 姉の子どもは生まれてすぐに エイズで亡くなった。
・買い物、お小遣い枠	月400R 近郊のショッピングセンター で買い物。服、雑誌	月50R 自分で稼ぐ 友達とアイスを食べる
・趣味	欧米の音楽を聴く、携帯メー ル、雑誌	伝統のビーズアクセサリーを 作る
・スポーツ	ネットボール ラグビーの応援	ネットボール サッカーの応援
・夢、将来の仕事	ファッション関係の仕事につ きたい（海外）	看護婦になりたい。
・治安、不安	防犯設備、ガードマン 車上荒し、夜間外出は×	エイズ、銃犯罪 近所は貧しい家庭
・友達	白人の女友達（同年代） ラグビーのサポーター達	幅広い年代（男女ともに） 子どもの面倒を見る
・言語	① アフリカーンス語 ② 英語	① インデベレ語 ② 英語 ③ ソト語 ④ アフリカーンス語

＝ディベートの流れ＝

- 1、 進行役（1名）と書記（1名）を決める」
- 2、 質問①「**A**と**B**どちらが幸せだと思いますか？」
 - ・ グループを2つに分ける。（進行役と書記は除く）
 - ・ まずお互いの生活状況を表にまとめる（「比較一覧表を用いる」）
 - ・ 「なぜそう思うか？」を話し合いまとめる。
 - ・ 意見交換（書記が両者の意見をホワイトボードにまとめる）
- 3、 質問②『「**幸せ**』とはなんだと思いますか？」
 - ・ できるだけ短い文でまとめる（長々と書かない）
 - ・ 「～こと」「～なこと」という形で3点まで
- 4、 質問③「**南アフリカの抱える問題と日本の現状は？**」
 - ・ 各グループでまとめる。両者を照らし合わせて考える。
 - ・ 「問題」は出来るだけ短い言葉で（例：教育問題、治安問題）
 - ・ 発表、集約する
 - ・ ファシリテーターが総括
- 5、 その後の処理
 - ・ 今回の話し合いの中で挙げられた意見等を1つの文書にまとめる。
 - ・ 個々の感想、意見を集約する。

南アの教育の現状と JOCV（青年海外協力隊）の関わりについて

JOCV 14年度2次隊

理数科教師

櫻田 悟

◎ 教育格差

黒人の学校と白人の学校には大きな格差が生じている。

教育面、経営面全てに及んでいる。

白人校・・・広大な敷地、立派な後者、寄宿舎、早い時期からの英語教育など

黒人校・・・セキュリティの弱い敷地、電気・水のない校舎、現地語に頼った教育など

学校で比べてみると、教員個々の能力にも問題があるが、校長の管理能力がもっとも強く影響しているように思われる。

◎ 教育水準の低さ→アパルトヘイトの余波

アパルトヘイトでは、黒人に十分な教育を施さない方策をとっていた（特に理数系）

黒人の教育力の低下＝黒人の生活レベルの低下＝白人優位を保てる

当時生徒として教育を受けた年代の人が今教師として働いている。

基本的知識の欠如、経験不足、実験に関してはほとんどやってきていない状態。

◎ アパルトヘイト後の教育改革

OBEスタイルの導入。白人でも難しい。黒人はなおさら。

（私個人のイメージとしては、全教科に「総合的学習」の要素を盛り込んだようなもの）

カリキュラム2005（→2006） 指導方法、評価方法が国から指定。難しい。

未だに「教師→生徒」の一方通行的な押し付け授業が横行している（カリキュラムに反する）

しかも間違っただけを教えている、授業・評価方法に問題がある場合が多い。

◎ 今日の教師の現状

教科指導力・教授力の低い人が多い。授業がまとまらない。

プライドが高いため、授業見学を拒否されるケースがある。

また、ワークショップ中に体質する教師もまれにみられる（内容についていけないため）

しかし、やる気のある、適応力・指導力を持った教師もいる。

→CLに立候補もしくは抜擢される→クラスター活動が活発になる。

◎ ムプラマンガ州の教育方策

MSSIプロジェクト。理数科教育力向上のためのプロジェクト。

ムプラマンガ州教育省、プレトリア大学、JICA（広島大、鳴門教育大）の三者の共同。

教材の作成・試行、クラスターの組織・運営、日本研修。

CI（教育指導主事）とCL（クラスターリーダー）がプロジェクトの主軸。

JOCVは教材の練り上げ・試行・クラスター運営に協力している。

◎ 州教育省の組織

1. 州教育省（州都ネルスプリット）
2. リージョン（リージョナルオフィス）×3
3. サブリージョン（ティーチャーズセンター）×10【CI】【JOCV】
4. サーキット（サーキットオフィス）サブリージョン内に5つ前後

◎ 主なJOCVの業務

- ・学校訪問、授業見学、教師・校長と懇談
- ・CIの通常業務のサポート
- ・クラスター支援活動
- ・教材開発、教材提供
- ・情報・成績管理支援、CI・教員の能力向上支援
- ・MSSIワークショップへの参加
- ・その他各種イベントへの参加、支援（SCIENCE EXPO など）